



『第19回男子アジア選手権』でハンドボール日本代表 彗星 JAPAN が 第3位 銅メダル獲得！ 土井レミイ杏利が「ベスト7」、徳田新之介が「MOM」に選出!!

株式会社ゼスト(本社:東京都港区 代表取締役社長 赤塚善洋)所属のプロハンドボール選手につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

2020年1月16日(木)~1月27日(月)の期間、クウェートにて開催しておりましたハンドボール競技『第19回男子アジア選手権』におきまして、ハンドボール日本代表 彗星 JAPAN が第3位の銅メダルを獲得いたしました。

日本はメインラウンド(グループ1)を全勝し、メインラウンド1位通過で準決勝へ進出。また来年の世界選手権の出場権獲得となりました。準決勝の韓国戦は延長戦の末、惜敗。その後のバーレーンとの3位決定戦に勝利いたしました。

■予選ラウンド【Group B】結果

| 順位 | | QAT | JPN | CHN | 数 | 勝 | 分 | 敗 | 総得点 | 総失点 | 得失点差 | 勝点 |
|----|----------|-------|-------|-------|---|---|---|---|-----|-----|------|----|
| 1 | カタル(QAT) | *** | 36○28 | 49○18 | 2 | 2 | 0 | 0 | 85 | 46 | 39 | 4 |
| 2 | 日本(JPN) | 28●36 | *** | 39○16 | 2 | 1 | 0 | 1 | 67 | 52 | 15 | 2 |
| 3 | 中国(CHN) | 18●49 | 16●39 | *** | 2 | 0 | 0 | 2 | 34 | 88 | -54 | 0 |

■メインラウンド【Group 1】結果

| 順位 | | JPN | BRN | UAE | KSA | 数 | 勝 | 分 | 敗 | 総得点 | 総失点 | 得失点差 | 勝点 |
|----|--------------|-------|-------|-------|-------|---|---|---|---|-----|-----|------|----|
| 1 | 日本(JPN) | *** | 25○23 | 31○19 | 30○22 | 3 | 3 | 0 | 0 | 86 | 64 | 22 | 6 |
| 2 | バーレーン(BRN) | 23●25 | *** | 29○18 | 18○17 | 3 | 2 | 0 | 1 | 70 | 60 | 10 | 4 |
| 3 | UAE | 19●31 | 18●29 | *** | 23○20 | 3 | 1 | 0 | 2 | 60 | 80 | -20 | 2 |
| 4 | サウジアラビア(KSA) | 22●30 | 17●18 | 20●23 | *** | 3 | 0 | 0 | 3 | 59 | 71 | -12 | 0 |

■準決勝・決勝

| | | | |
|-------|----|-------|----|
| 日本 | 32 | 韓国 | 21 |
| 韓国 | 34 | カタル | 28 |
| カタル | 28 | カタル | 33 |
| バーレーン | 24 | バーレーン | 26 |
| 日本 | 27 | 3位 日本 | |
| バーレーン | 26 | | |

優勝 カタル

また、「男子アジア選手権大会ベスト7」を弊社所属契約選手である土井レミイ杏利(どい れみい あんり)が受賞いたしました。土井はハンドボール日本代表 彗星 JAPAN キャプテンとしても大いにチームを牽引いたしました。

1月27日(月)に行われました三位決定戦では強豪国バーレーンに1点差で勝利し、弊社所属契約選手である徳田新之介(とくだしんのすけ)がチーム最多得点の7得点を記録。MOM(マンオブザマッチ)に選出されました。

【土井レミイ杏利 コメント】

まず始めに多大なるサポートをしてくださったトレーナーの方々をはじめスタッフ関係者の皆様、本当にありがとうございました。
そして、スポンサーして下さった企業の皆様に感謝の意を表します。
最大の目標であった全勝優勝には及びませんでしたが、最後まで戦い抜き銅メダルを持ち帰ることができたことは、オリンピックに向けて大きな一歩となりました。
また「ベスト7」に選ばれたことも私個人のさらなる自信となりました。
今後とも皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



【徳田新之介 コメント】

クウェートで行われたアジア選手権では3位という結果でした。
チームの目標である優勝に届かなかったこと、自分がチームの勝利に貢献できなかったことがとても悔しいです。
特に準決勝の韓国戦では自分のプレーが全くできず、技術面、精神面ともに成長しなければいけないと感じた試合でした。
3位決定戦のバーレーンとの試合では自分の持っているプレーが出せてMOMを獲得することができました。
試合でこのパフォーマンスを常に出せるように、これからオリンピックに向けて練習を頑張りたいと思います。
この大会中応援して下さった皆さま、ありがとうございました。
これからも応援よろしくお願いいたします。



本件に関するお問い合わせ
株式会社ゼスト

E-mail info_sports@zest-corp.com TEL 03-6803-8668

お願い&ご注意 提供素材をご使用の際は、©Zest,Inc.のコピーライト表記をお願いいたします。